



浄土真宗本願寺派



国際伝道 その12

本願寺 ネパール開教地

ネパールでの真宗伝道は、ソナム・ワンディ・ブティヤ氏（インド・南シッキムの出身）が、2002（平成14）年に来日し、宗派留学生として中央仏教学院にて修学した後より、伝道活動が展開していった。

2003（平成15）年には、ネパール・カトマンズに寺院建立計画が立てられ、日本国内の賛同者や宗派の支援のもと、翌2004年より建設が開始された。

2006（平成18）年7月、宗派より正式にネパールが開教地指定を受け、名称を「カトマンズ本願寺」と定め、初代開教事務所長にソナム氏が就任した。

2016（平成18）年3月6日には、即如上人ご親修にて本堂落成慶讃法要が厳修された。

ネパールにおける開教の歴史はまだ浅いものの、カトマンズを拠点として、法要儀式や法話会などの布教伝道だけに留まることなく、様々な社会貢献活動を積極的に取り組んでいる。

2015（平成27）年4月25日に発生したネパール地震の際には、日本国内、海外開教区より寄せられた義捐金によって、被災地域での復興支援活動や、2つの学校建設を行った。



カトマンズ本願寺



ソナム開教所長



慶讃法要の様子

またその他にも、献血や古着の配布、車椅子の無償交付、無料での健康診断、催日本語学校の開催など、若い世代を中心として活発な寺院活動を展開している。

「宗祖聖人月忌・

門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）

九月十六日（水）午後一時半

*毎月十六日に本堂において勤めております。

法要開催検討中

「秋季彼岸会」（善教寺本堂）

九月十九日（土）朝席：午前十時

昼席：午後一時半

講師 根来暁師

（東広島市八本松町吉川西福寺）

法要開催検討中

「護持会報恩講」（善教寺本堂）



十月二十四日（土）朝席：午前十時

昼席：午後一時半

講師 広幡康祐師（呉市安浦町信楽寺）

